



## ジャパンラグビー リーグワン試合会場での広報活動

自衛隊東京地方協力本部（本部長 鹿子島陸将補）は1月17日、秩父宮ラグビー場で開催されたジャパンラグビーリーグワン浦安D-Rocks対東芝ブルーパス東京の試合会場において、第1空挺団、第1普通科連隊及び第1音楽隊の支援を受け、広報活動を実施した。

本広報活動は、浦安D-Rocksのチーム運営を行っているNTT SportsXと連携し、自衛隊の活動内容や社会的な役割を周知することとで理解の深化及び魅力化を図る目的で実施し、東京地本としてラグビーの試合会場では初の試みとなった。

当日は、晴天に恵まれ、ラグビーファン約8千人の観衆が集まる中、屋外イベント会場において、偵察用オートバイや高機動車の装備品展示やガラポン抽選会及び迷彩服・制服の体験試着コーナーの設置の他、第1空挺団ラグビー部員による訪れたラグビーファンからのタックル受けやパスまわしにより来場者の気分を高揚させるとともに自衛隊への親近感を醸成することができた。また、試合会場のスタンドでは第1音楽隊の迫力ある演奏が行われ、会場を盛り上げた。

来場者からは「自衛隊のたくましい姿を見ることができ心強い」「ラグビー場での素敵な音楽演奏に感激した」など多くの心温まる声を聞くことができた。

今回の広報活動に当たり、プロスポーツの高い集客力や部外組織との連携により、募集対象者を含む幅広い年齢層に自衛隊への関心や認知度向上を図ることができたことから、今後もプロスポーツ団体との連携を強化し、魅力ある広報活動を実施していく。

